中学国語

動詞.3 五段活用

年　　組　　番

名前

解答

五段活用…活用語尾がアイウエオの五つの段に変化。

例	言う	言う	帰る	帰る
語幹	言	言	帰	帰
未然形	わ	お	ら	ろ
連用形	い	っ	り	っ
終止形	う	う	る	る
連体形	う	う	る	る
仮定形	え	え	れ	れ
命令形	え	え	れ	れ

例…言わない・言おう【未然形】

語の続き

ない	ます	ときば	う	た	こと	て	の

音便…五段活用の連用形に「た・て」などを付ける時、活用語尾の音が変化すること。

① 急ぐ＋た→急ぎた→急いだ【イ音便】

② 言う＋た→言いた→言った【促音便】

③ 生む＋た→生みた→生んだ【撥音便】

※穏便になる時「た・て」が「だ・で」になることがある。

(1) 次の文において、「飛ぶ」を活用させて書け。

① 高く（　　）ことができたらいいな。（　　）

② 帽子が風で（　　）でいった。（　　）

③ 今すぐ空へ（　　）！ ※命令（　　）

④ その鳥はまだ空を（　　）ない。（　　）

⑤ かごから出て、空を（　　）ばいいのに。（　　）

(2) 次の動詞について、（　）に合うように、音便の形に変化させよ。また音便の種類も答えよ。

① 【書く】昨日のことをノートに（　　）た。
音便［　　］（　　）

② 【打つ】ボールを力いっぱい（　　）た。
音便［　　］（　　）

③ 【聞く】先生の話をよく（　　）た。
音便［　　］（　　）

④ 【飲む】友だちとジュースを（　　）だ。
音便［　　］（　　）

⑤ 【待つ】バスが来るまで（　　）た。
音便［　　］（　　）

⑥ 【読む】本を夢中で（　　）だ。
音便［　　］（　　）

⑦ 【歩く】遠くまで（　　）たら疲れた。
音便［　　］（　　）

(3) 次の線部の動詞の活用形は何か。

① 彼は毎日学校へ通う。（　　）

② 私は前の学校の友達に手紙を書いた。（　　）

③ 兄が話す声が聞こえる。（　　）

④ もっと強く持てばよかった。（　　）

⑤ 彼は最後まで戦わなかった。（　　）

※このプリントは右の【ポテスクプリント】にて無料でダウンロードできます。

Potaschool Print ポテスクプリント